

「貝類学の先駆者」 展示資料リスト

*期間中に 展示替えを行います。”赤字”は 後半に展示予定。

①	Systematische conchylien cabinet / by Friedrich Heinrich Wilhelm Martini Bd. 1 (1837) ドイツの医師、翻訳者、貝類学者である F. H. Wilhelm Martini の出版物。1769-1829にかけて出版されたが、3巻の出版後亡くなったため、J. H. Chemnitz (1730–1800)に引き継がれ、1837年 発行された色鮮やかなイラスト入り 貝の本。
②	Conchologia iconica: or, illustrations of the shells of molluscous animals. / by Lovell Augustus Reeve Vol. II , <u>Vol. III</u> , <u>Vol. X</u> (1843-1878) イギリスの L. A. Reeve が手がけた、20巻に達する大作。約27000の図が掲載。
③	Abbildungen und Beschreibungen neuer oder wenig gefannter Conchylien : unter Mithüfte mehrerer beutscher Conchyliologen herausgegeben / von R.A. Philippi Vol. III (1851) 古生物学者、植物学者、動物学者である Rodolfo Amando Philippi による軟体動物に関する解説書。
④	Thesaurus conchyliorum, or, monographs of genera of shells / edited by G.B. Sowerby Vol. IV (1880) 博物学者の James Sowerby の息子、G.B. Sowerbyが、父親のアシスタントとして書いた著書。 この資料は 5巻に及ぶ大作。
⑤	Proceedings of the Academy of Natural Sciences of Philadelphia Vol.57 (Oct. 1905) 平瀬與一郎とアメリカの貝類など軟体動物の分類学研究者であった Henry Augustus Pilsbryによる 連携研究 日本産貝類についての論文。
⑥	介類雑誌 / 平瀬介館 1号 –12号 (1907.1-1909.12) 平瀬與一郎（日本民間の貝類研究家、貝類収集家）による 日本の貝類に関する研究雑誌。
⑦	<u>化石學教科書 / 横山又次郎編</u> (1894.11-1897.6) 化石は地球創始以来生息する動・植物の一種であり、地質学と統合して地球の歴史を説くものであると考え、化石学として 編纂した本。
⑧	日本産貝類標本目録 = Catalogue of Japanese Mollusca / 岩川友太郎編 (1919.12) すでに刊行されていた『日本産貝類標本目録第1編』(1909) に海産蛤及び淡水産貝類を追加し、一括して出版。
⑨	原色日本貝類圖鑑：日本列島及びその附近産 / 平瀬信太郎著 (1954.7) 大正から昭和初期の日本を代表する貝類学者である平瀬信太郎の著書。父親の意志と標本を受け継いで 貝類図鑑を作成したが、出版を待たずに病死し、引き継いだ瀧 庸 との連名で出版。貝類の図版、学名、和名、産地が掲載された本格的な貝類図鑑。
⑩	原色日本貝類図鑑 / 波部忠重著 〔保育社の原色図鑑;25〕 (1961.5) 20世紀後半の日本における代表的貝類学者の一人として知られた 波部忠重による図鑑。通称「波部図鑑」。 1300以上の新種、新属を発見して掲載。